

しかま議会 だより

第75号

令和3年2月15日発行



みんなでがんばった 清水保育所のおゆうぎ会

11月・12月・1月会議

12月会議	3 P
11月・1月会議	6 P
一般質問	7 P
委員会活動レポート	14 P
活性化特別委員会中間報告	15 P
New Voice No38	16 P

コロナから 町民の生活を守る

本年も議員全員で取り組んでまいります



色麻町議会議員一同

令和2年度

一般会計補正予算

補正 予算

加美郡保健医療福祉行政事務組合負担金に
4,408万8,000円を追加
 防災行政無線デジタル化改修工事に
2,600万円を追加

**12月
会議**
 12月8日～10日

歳入の主なもの

町税

●5643万9000円の増額

内訳は個人町民税2220万2000円、固定資産税3423万7000円の増額です。

国有提供施設等所在市町村助成交付金

●716万6000円の増額

国有提供施設等所在市町村助成交付金の増額です。

国庫支出金

●1073万5000円の増額

主なものは障害者自立支援給付費負担金414万9000円、過年度分障害者自立支援給付費負担金追加交付781万7000円の増額です。

財産収入

●655万5000円の減額

主なものは町有林素材生産売払収入の減額です。

歳出の主なもの

総務費

●426万9000円の増額

主なものは弁護士委託料165万円、住基システム改修委託料242万円の増額などです。

民生費

●6494万9000円の増額

主なものは加美郡保健医療福祉行政事務組合負担金4408万8000円の増額などです。

農林水産業費

●793万円の減額

主なものはパークゴルフ場屋外トイレ設置工事費349万6000円の増額、町有林皆伐事業委託料399万3000円の減額などです。

消防費

●2974万円の増額

主なものは防災行政無線（移動系）デジタル化改修工事費2600万円の増額などです。

令和2年定例会12月会議を、12月8日から10日までの3日間開会しました。
 令和2年度各種会計補正予算7件、固定資産評価審査委員会委員の選任3件、条例の制定1件、条例の改正6件、施設の指定管理者の指定3件、安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書など提案された案件は、すべて原案どおり可決しました。

会計の種類		補正額	予算の総額
一般会計		9,433万1,000円の増	54億1,655万円
特別会計	工業団地整備	1,350万円の減	1億3,098万3,000円
	国民健康保険	119万8,000円の増	8億4,223万5,000円
	後期高齢者医療	55万円の増	8,056万円
	介護保険	4万8,000円の増	8億1,446万4,000円
	下水道事業	歳出予算の組み替え	3億8,489万9,000円
	水道事業	資本的収支 2,000万円の増	2億8,166万4,000円

一般会計

質疑歳入

小川議員

固定資産税で3400万円増額されているが、課税客体はどの部分か。

遠藤税務課長

償却資産の影響が大きく、償却資産分だけで約3100万円の増額となります。

白井議員

国有提供施設等所在市町村助成交付金が、過去3ヶ年分と比較し増加している。交付に関し国から詳細な情報はあるのか。

鶴谷総務課長

3月末現在で存在する対象資産価格や、市町村の財政状況等を考慮し総務大臣が配分することとなっていますが、具体的な内訳については公表されていません。

山田議員

地球温暖化森林づくり推進事業補助金

質疑歳出

相原議員

115万2000円の減額理由は。

浦山産業振興課長

町有林の間伐・皆伐事業を予定し、指名競争入札を執行したが入札不調となりました。

また、入札不調により

随意契約での見積もりも徴収しましたが、落札者がなく契約できなかったことによりです。

相原議員

本町では入札結果を公表しているが、入札が不調となった場合は公表していない。他の自治体では、入札不調の場合も公表している事例もあるが、公表すべきではないか。

町長

公表すべきかすべきでないか、検討いたします。

相原議員

定住促進奨励金の交付・申請件数は。

菅原企画情報課長

定住促進住宅取得等補助金（50万円）が3件、3世代同居等支援金（100万円）が1件となっています。

天野議員

議会を通さない契約で、今回弁護士委託料165万円が計上されている。町長は、この事務事業の支出の仕方は適正だと考えていると理解しているが、その根拠は。

町長

合意書は業者が銀行から金を借りるため、その条件として町に願い出たものであり、合意書を取り交わすための議会の同意はなくてもいいだろうと。執行者の判断でいいだろうと。今までも回答を申し上げたつもりです。

福田議員

申告相談受付業務を委託する考えのようだが、

税に関する業務は大変デリケートなものである。地方公務員法が適用される職員の配置は検討しなかったのか。

遠藤税務課長

短期間の業務であることから業務委託を選択しました。

なお、委託契約の際、

守秘義務を契約上うたうことで、対応したいと考えています。

相原議員

加美郡保健医療福祉行政事務組合負担金が4400万円ほど増額されている。その主な要因をどのように分析しているのか。

町長

一番大きく影響したのは、コロナ騒動により患者数が極端に減少したことによりです。

小川議員

愛宕山公園管理事務所所管の新型コロナウイルス感染症対策費が、なぜ一次・二次の段階でとりまとめられなかったのか。

現場と情報を共有し対応すべきではなかったのか。

山吹副町長

情報収集の対応が欠落していたことは否めないと思っています。

今後は、その反省を踏まえ対応してまいります。

天野議員

色麻中学校修学旅行取

消料支援事業補助金の内容と、対象人数は。

今野教育総務課長

コロナウィルス感染症防止のため中止した修学旅行の、色麻中学校3年生74人分のキャンセル料を補助し、保護者の経済的負担を軽減するものです。



コロナ禍にあえぐ病院

条例の制定・一部改正

●色麻町議会議員及び色麻町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定

公職選挙法の一部が改正され、町村議会議員選挙及び町村長選挙において、選挙運動用自動車の使用料と選挙運動用ポスター・ビラの制作費用が、選挙公営の対象になったことから条例を制定するものです。

●色麻町国民健康保険税条例の一部改正

地方税法施行令の一部を改正する政令が公布され、国民健康保険税の減額に係る所得の基準が改正されましたので、関係する条例の一部が改正されました。

●色麻町後期高齢者医療に関する条例の一部改正

●色麻町介護保険条例の一部改正

地方税法の改正により、延滞金及び還付加算金の割合並びに延滞金の割合の特例の用語などが見直しされたことにより、関係する条例の一部が改正されました。

●色麻町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

●色麻町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

国が定める各種子育て支援施設等の設備及び運営に関する基準の一部が改正されましたので、関係する条例の一部が改正されました。

●色麻町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部が改正され、都道府県知事に加え中核市の長も放課後児童支援員認定資格研修を実施できるようになったため、関係する条例の一部が改正されました。

意見書

安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書

私たちは、国民が安心して暮らせる社会実現のために、下記の事項を要請します。

記

1. 今後も発生が予想される新たな感染症拡大などの事態にも対応できるよう、医療・介護・福祉に十分な財源確保を行うこと。

2. 公立公的病院の統合再編や地域医療構想を見直し、地域の声を踏まえた医療体制の充実を図ること。

3. 安全・安心の医療・介護提供体制を確保するため、医師・看護師・医療技術職・介護職等を大幅に増員すること。

4. 保健所の増設・保健師等の増員など公衆衛生行政の拡充を図ること。ウイルス研究、検査・検疫体制などを強化・拡充すること。

5. 社会保障に関わる国民負担軽減を図ること。

提出者 色麻町議会議長

提出先 衆議院議長・参議院議長

内閣総理大臣・財務大臣

総務大臣・厚生労働大臣

公の施設の指定管理者の指定

全会一致で可決しました。

施設の名称	色麻町コミュニティセンター
指定管理者	清水地区コミュニティ推進協議会
施設の名称	色麻町デイサービスセンター
指定管理者	社会福祉法人色麻町社会福祉協議会
施設の名称	色麻町畜産複合地域環境保全施設
指定管理者	加美コンポスト利用組合

※指定の期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日

固定資産評価審査

委員会委員の選任

全会一致で同意しました。

浅野文治氏

(下高城地区)

虎岩英生氏

(北大地区)

嶋貫景悦氏

(高根地区)



一般会計で町有自動車

損害共済金などで

283万2千円追加

総額53億3221万9千円に

色麻小・中学校情報端末器等の購入について

- 種類及び数量 情報端末器等一式（654台）
- 契約の方法 指名競争入札
- 購入金額 4273万8660円
- 契約の相手方 富士ゼロックス宮城株式会社

和解及び損害賠償の額を定めることについて

- 本件の概要
県道交差点において公用車を後退する際、相手方車両に接触し損害を与えた
- 和解の内容
町が相手に対し、損害賠償額83万1913円を支払う（過失割合町100%…相手方0%）



会期の決定

通年議会の会期を、1月5日から12月28日までの358日間と決定しました。

新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金等を追加 総額54億3,123万9,000円に

主 な 事 業 概 要	事 業 費
公共施設の感染症対策として体温測定器等の調達や仮設トイレのユニット化により衛生循環の整備を図る	535万3千円
米価下落に伴い影響を受ける農業者を支援するため、主食用米作付面積に応じ2,000円/10aを交付する	2,860万6千円
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、スクールバス用空気清浄機取付経費の奨励金をバス会社に交付する	315万1千円
小中学校の手洗い場に手洗い温水器を設置する	300万円
加湿空気清浄機を設置する（色麻幼稚園）	124万9千円

一般質問

我が町政を問う



ここが聞きたい

6人の議員が登壇



① 白井幸吉議員.....8P

- ①水田の転作対応について
- ②高齢者等タクシー利用助成事業の実施状況について

② 天野秀実議員.....9P

- ①働き方改革について
- ②結婚支援について
- ③産業振興について
- ④訴訟費用について
- ⑤農村環境改善センター改修工事について

③ 今野公勇議員.....10P

- ①農業について
- ②鳥獣被害対策について
- ③色麻学園の様子について

④ 河野 諭議員.....11P

- ①ワイマックス事業について
- ②ふるさと納税について

⑤ 大内直子議員.....12P

- ①八森山風力発電計画が町民にもたらす影響
- ②愛宕山公園・伝習館の活用について
- ③第5次長期総合計画に、まちづくりの視点を

⑥ 福田 弘議員.....13P

- ①第8期色麻町介護保険事業計画について
- ②水道施設整備計画及び町道新設改良計画について

「議会だより」に掲載する一般質問の内容は、紙面の関係上、質問を要約し、掲載しています。
掲載されていない質問項目について知りたい方は、議会事務局に会議録がありますので閲覧下さい。

Q 大幅な主食用米減産での支援策は

A 再生協議会で支援策を検討します



白井 幸吉議員

白井

来年の主食用米で割り振られた生産の目安が、本年より生産量が178トン、面積で44haが減る事になったがその感想は。

町長

農家は主食用米に高い意識があるが、経営の安定を考えた転作を図る必要があります。

白井

主食用米と転作との手取り格差が課題だ。

町の裁量で出来る、団地加算や地域枠助成で支援を検討すべきだ。

町長

予算もあるので、検討させていただきます。

白井

国や県では転作助成の上乗せを検討の様だ。作付の判断材料にもなる助成内容を把握しているか。

浦山産業振興課長

県では主食用米の緊急転換助成を検討中であり、併せて国の助成も踏まえて、今後取り組みます。

白井

農業は町の基幹産業です。エゴマの様な特産品を増やす考えはあるか。

町長

具体的には無く、エゴマと振興作物11品種を中心に、進める考えです。

白井

主食用米との手取り解消策を、しっかりと再生協議会で検討すべきだ。

町長

農家経営の安定が大事です。作物や作業形態を判断し、どう応援できるか見極めて対応します。

Q

タクシー利用券事業は継続するのか

A

利用者から好評で今後も継続します

白井

高齢者のための交通手段を提案してきた。これまでのタクシー利用券交付と利用の人数、金額は。

町長

11月30日現在で、利用券交付者が61名で利用者は37名、金額は49万8000円です。

白井

利用していない方もいる。もっと利用を促すべきと考えるがどうか。

浅野保健福祉課長

町広報紙には掲載していますが、今後も周知を図ります。

白井

利用者からの感想を聞

いているか。

浅野保健福祉課長

タクシー代の負担軽減で、安心して通院や買い物が出る事。車の運転が不安だったが、これを機会に免許を返納したなどの声がありました。

白井

感想での好評な事も踏まえ、来年度の事業継続の考えはあるのか。

町長

来年度も引き続き実施したいと考えています。

白井

事業継続とのことだが、利用料金は年間2万4000円となっている。好評な事業であり、費用対効果を踏まえ、利

用料金を増やしてはどうか。

町長

金額は現状維持としたいが、対象者には早めの手続きで、利用していただきたいと思っています。

白井

隣村では身体障害者手帳や、療育手帳の交付者も対象者だ。以前に検討するとのことだったが、対象とする考えはあるか。

町長

手帳交付者全員を対象とする考えはないが、症状やその度合での検討はします。



天野 秀実議員

Q 町の将来への布石を打つべし

A 対応にやぶさかではない

天野

東京都から流出する人口が流入する人口を5千人上回ったようです。また新型コロナウイルス感染症拡大を契機に、政府ではテレワーク等の働き方改革を推進するようですが、我が町としての方針はどうか。

町長

国や他自治体の動向に注視しながら取り組みの具体化に向けて調整を図ってまいりたいと考えております。

天野

内閣府では、地方創生につながるテレワークなどを推進する自治体に交付金を創設する方針を固め150億円を計上し、75%を補助するようです。今こそ企業を呼び込むための布石を打つべきです。町民の幸せのために人口増をはかり税収を確保し、交付金を活用しながら将来につながる町づくりになさるべきと考えますが。

町長

本町で仮にするなら空き家が考えられます。空き家が活用できるとすれば町として準備できるかもしれません。公共施設を希望すれば可能な場所もあると思います。対応できるものもありますし対応することはやぶさかではありません。

Q

補助金を活用し新婚者に60万円の支援を

A

生活支援されるのであれば検討します

天野

支援事業の現状はどうなっているのか。また、今後の支援策については

町長

結婚支援員5名により3組のマッチングを行いました。現在会員18名で10月に「リング狩りツアー」を実施しました。今後の支援策としても一度婚活イベントを実施したいと思います。

天野

内閣府は「結婚新生活支援事業」を強化するとして、新婚世帯の支援を60万と決定し来年度予算に盛り込みました。

町内の新婚世帯すべてを支援するためにも国からの補助金を獲得する努

力をされることも必要と考えられるが。

町長

結婚されたその後の生活が支援されるのであれば検討します。

※やぶさがもの惜しみすること
※マッチング
マッチすること、つまり一致すること。

※検討する
提案や要望に対し「ひとまず受けつけた」といった意味。



Q 病害虫防除の徹底を

A 関係機関と検討します



今野 公勇議員

今野

農業を取りまく環境は年々厳しさを増しています。鳥インフル・豚熱・害虫、農作物の盗難など。そんな中、本年産農作物の作柄は把握できていますか。

町長

米については作況指数102で予想収量537kgとなっています。大豆・えごまは確定していません。

今野

農協の出荷状況は、契約数量に対して99・1%の出荷率です。ひとめぼれにおいて一等米85・6%となっているが、色選処理量が2万6500袋19・25%となっている。単純な計算だが10a当たり約1900円のマイナスになる。

町長

本年産はカメムシ被害が多発し色選処理が多



侵入を防ぐメッシュ柵

かったと聞いている。農作物病害虫防除協議会として、一斉防除や畦畔の草刈り時期について広報している。

今野

無人ヘリによる防除を徹底すべきでは。現在は水田全面散布の防除になっていない。牧草地や大豆畑等の転作地や河川敷も含めせめて一回でもやるべきではないか。

町長

予算的な事もあります。が、今の案も含め関係機関と検討してまいります。

Q

鳥獣被害対策の課題は

A

東北防衛局は難色を示す

今野

鳥獣被害対策について本年度の実施内容及び成果と課題は。

町長

今年度は有害鳥獣対策協議会が主体となり、地域の皆様のご協力をいただき「侵入防止柵の設置」を中心に行いました。

今野

約41kmにわたることからアドバイザーの助言のもとより効果的な方法で実施しましたが、設置時期が同じでない事から成果は限定的です。

町長

かつて東北防衛局との話し合いの中で演習場内のわなの設置や駆除のお願いをしたが聞き入れられなかった。

今後も機会を捉えて要請していきたい。

浦山産業振興課長

今年は南大・北大・大原地区の設置は実施していません。できれば演習



河野 論議員

Q JTTプランニングを訴える考えはあるのか

A 企業資産が低いことから訴訟は見合わせた

河野

色麻町を振り回すだけ振り回し、挙句の果てに事業が完成していないのに町を訴えてきているJTTプランニングを訴える考えはあるのか。

町長

JTTプランニングには私も怒りを覚えています。今回の訴訟が提起された時点で別訴をすべきか検討も行ったが、企業資産が低いことから訴訟は見合わせました。

河野

この会社は自分が提案した事業で約2200万円を町に持ち出しをさせ、それでも全く完成することができず、会計検査院から交付金約1億5千万円は不当と指摘され、町で貯金を取り崩して返還しているのに対し責任は感じているのか。

町長

責任論でも色々と議論しましたが「この事業を選んだのは町でしょう」と、町に責任があるのではないかと責任を全く感じていない。今まで何十年と色々な会社と接してきたがこんなにも責任のない会社は初めてです。

Q

ふるさとまちづくり基金の残高は

A

4月末現在で41118万円です

河野

本年度のふるさと納税額は。

町長

11月末現在で405件、628万円です。

河野

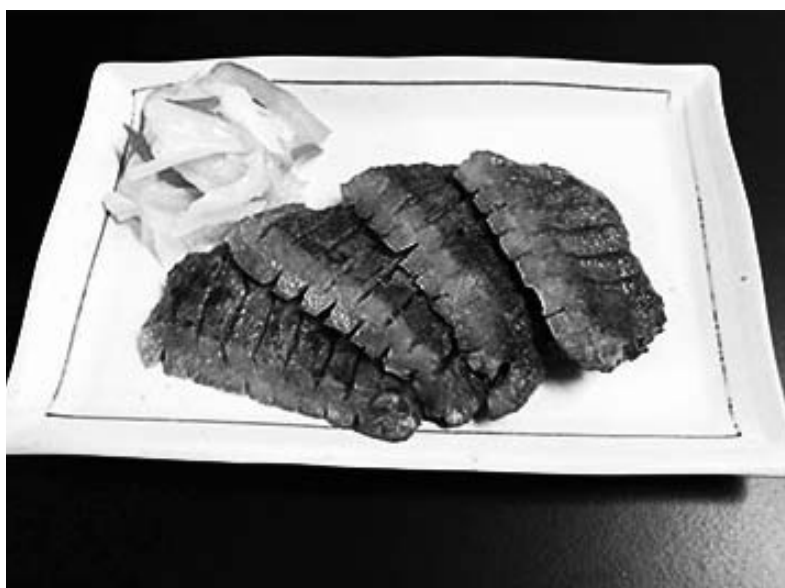
人気返礼品とふるさとまちづくり基金の残高は。

鶴谷総務課長

1位「えごま油100g3本セット」2位「炊き立てフレッシュパック」3位「味付け牛タン」で、ふるさとまちづくり基金の残高は4月末現在で41118万円です。

河野

返礼品で3つ提案します。一つ目「えごま焼酎



返礼品に加わった味つけ牛タン

が返礼品から外れているが再度加えることはできないか、二つ目「かっぱの湯の入湯券」、三つ目「味彩館ふるさとの食事券」を加えられないか。

鶴谷総務課長

担当課や会社とも話し合い前向きに検討していきたいと思っています。

Q 風力発電十分に検討すべきでは

A 住民に不都合があれば進めない



大内 直子議員

大内

八森山風力発電計画について、町はどのような見解を持っているのか。

町長

重要視するのは、第一に住民への健康被害が起きないこと、第二に生活環境・自然環境の保全、第三に災害発生リスクを配慮すること。これらの要件をクリアできなければ、町としてこの事業計画に賛同することはない。

大内

風力発電所周辺で起きている被害について町ではどう認識しているか。

井上町民生活課長

低周波音、超低周波音による健康被害については、国内外に数多くの報告がされている状況だと認識している。

国内では風力発電所が建設された一部の地域で、頭痛や耳鳴り、目まい、吐き気、不眠など様々な

町長

この風力発電事業は町で誘致したのではなく、

町が進める事業でもない。住民にとって不都合なことがあれば、町としては事業を進めない。

Q

民間と連携したまちづくり

A

民間といっしょに町を盛り上げたい

大内

考えて、考え尽くしたら行動してみることだ。

愛宕山公園もかっぱの

湯も、人が来ているという事実がある。人が集まれば、そこでモノが売れる。良いものを作れば買う人がいる。愛宕山のシャクヤクも、良いものにしていったからお客さんも増えたし、花や苗も売れるようになった。

町長

なくてもまちづくりはできる。ダイナミックな動きができる民間（町民）と連携する、任せるところは任せる。これまでのようにすべてを町が主導するというやり方から、一歩前へ進むことが必要ではないか。

町民の中での企画には町も協力したい。民間といっしょに町を盛り上げていきたい。

町長

財政的な問題もあって現実的には難しい。

大内

お金がないなら知恵をしなければ良い。一生懸命



福田 弘議員

Q 介護保険料の引き下げや据え置きは

A 第7期と同じぐらいと考えています

福田

第8期介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）の基本的な考え方は。

町長

「高齢者が笑顔で暮らせる町」を基本理念とし、これを実現するための施策を実施して参ります。

また、自然災害や感染症対策について、新たに追加します。

福田

第7期介護保険事業計画の検証と評価の結果は。

浅野保健福祉課長

認定者数が計画より下回り、主な介護サービスの訪問介護、短期入所、介護老人福祉施設入所ともに、計画値の80%台に止まっています。

福田

介護給付費準備基金の残高はどうなっているのか。

浅野保健福祉課長

令和元年度末で、7776万円となっています。

福田

介護給付費準備基金と、予備費を含めると1億円を超える手持ち資金がある。

医療費窓口負担の増加など、今後の高齢者の負担増を考慮すると、手持ち資金を活用すれば、令和3年度から令和5年度までの介護保険料の引き下げや、据え置きは可能と考えるが。

町長

第8期の保険料は、第7期と同じぐらいの負担になると考えています。

Q

町単独の道路改良事業は

A

経常経費を抑え事業を増やします

福田

企業誘致に向けた給水対策はどのように講じていくのか。

渡邊建設水道課長

令和3年度に新たな井戸を掘削・整備し、令和4年度から給水する計画です。

また、給水量は3工区分合せて300㎥／日の計画です。

福田

新たに300㎥／日の給水量を確保すれば、企業誘致には万全と考えているのか。

町長

年度によっては十分に地下水をくみ上げられないこともあります。

将来的には、さらに考えなければならぬことも、あると考えています。

福田

改良事業が遅れていた学校1号線、広域1号線、四電2号線の改良事業を、今後どのように進める計画か。

渡邊建設水道課長

令和3年度から事業を再開し四電2号線、学校1号線は令和3年度で完了させたいと考えています。

また、広域1号線は複数年で施工し、令和7年度には完了させたいと考えています。

福田

町単独の道路改良事業が近年少なくなってきた

いる。

平成22年度から平成26年度の5力年で43路線、8719メートルが、平成27年から令和元年度の5力年で18路線、2047メートルに減少した。

計画している路線が、残り30路線近くあるが、今後どのように整備を進める考えか。

町長

計算外の負担が多く、使える予算が圧縮されてきており、計画通り進めることが思うように行かない状況です。

今後、経常経費を抑え、町単独事業の箇所を増やしたいと考えています。

委員会活動 Report



総務教育常任委員会

委員長 相原和洋

1 調査期日

令和2年11月17日(火)

2 調査項目及びまとめ

①防災ハザードマップと災害対応については、今後、風水害や台風に直面等する場面が増える傾向の中で、いかに避難情報をいち早く周知し、町民等の安全の確保に努めていくのか。

同時に町民各自に防災等への危機管理の意識を常に持つってもらう為に、どのように意識付けの周知に努めるのか、など意見が出された。

今後は「自助・共助・公助」のもとで各自各々が「何をすべきかを考え」防災力の向上に努めてもらうことを望む。

②RF電波受信チップの設置については今回、多

大な補助金を使い未完成な事業に、なぜなつてしまったのか。また、委託料については業者より訴訟を起こされ、結果判決では訴訟費用については、原告負担になったもの、多大な弁護士費用等は町民の税金で負担する結果になってしまったのはどこに原因があったのか。

今後、二度とこのようなことを起こさぬように新規事業をする上で事業に精通した人材を起用し、しっかりとした事業の推進に努めてもらいたい。

③図書館の利用・管理システムの活用等については、図書をもっと借りてもらい為に利用者の利便性を図るのか。また、利用者への情報発信はどのようにするのか。利用促

進を図る上でもっと分かりやすい図書コーナーのレイアウト等の整理等を望むものである。

④社会教育施設の活用等については、改善センターの大規模改修工事について多目的ホールの床の「ゆがみ」の原因等について質疑された。今後、委員会としては多くの町民が利用する施設をより快適に利用してもらえよう対策および改善も含め、強く切望するものである。

今後は各事業内容の改善精査を図り、更なる町の発展と町民生活の福祉向上に努め、行政サービスの向上に繋がるよう期待と切望するものである。

産業民生常任委員会

委員長 白井幸吉

1 調査期日

令和2年10月20日

2 調査項目及びまとめ

①これまでの新型コロナウイルスの対応と今後のインフルエンザの対応について

町では感染症対策本部会議を設置し、チラシ配布、集会自粛、行事の中止、公共施設の使用制限などの対策を図ってきた。仮に保育所・幼稚園などがコロナ感染で休所・休園になった場合、保護者や子どものための対応マニュアルを、検討するべきとの意見が出された。

今後も新型コロナウイルスとインフルエンザに對しては、基本的な対応を周知徹底のうえ、予防対策を行う考えである。

②愛宕山公園の管理状況

について

6人のスタッフで公園全体を管理している。本年度は一部の作業をシルバー人材センターに委託しているが、短期雇用者がより多く勤務出来るよう配慮すべきとの意見が出された。

資料展示室の企画展では、新田地区の方の「昔のラジオ展」が人気を博したとのことである。

③平沢交流センターの管理状況について

本年はコロナ禍での休業などで入館者が大幅に減少している。

指定管理料が年間5千万円を超えている中で、指定管理の見直しや民間移譲の検討に対しては、補助金適正化法を踏まえ、将来的に何が良

いかを検討する考えである。

④農村環境改善センター改修工事について

ヘアークラックによる床の膨らみ発生の指摘があったが、期間と費用を考慮して、樹脂モルタルを塗る工法を選択した。

その後に膨らみが発生したが、県建築住宅センターでは、今回の設計内容や築年数での経年劣化により、工事の瑕疵ではないとのことである。

今後、張り替えても同様になるため、当面は現状で使用し、状況によりその都度対応するとのことだが、町民からの意見や要望には、適切に対応する様申し入れを行った。

議会活性化特別委員会中間報告

委員長 山田 康雄

はじめに

色麻町議会基本条例が平成31年4月に施行され、その条例により改選後に検証を行うという規定に基づき、議会活性化特別委員会を設置し調査を実施した。

調査の期日

調査期日は令和2年3月16日から11月19日まで8回開催した。

調査の結果

(1) 政務活動費

政務活動費については平成30年に町長に要請したが時期尚早との回答を受けている。

しかし、町民の代表である議会が議員一人ひとりの政策能力、資質向上を図ることが町政発展につながるという意見で一致していることから、改めて町長に政務活動費の予算確保を要請することとした。

(2) 議会情報の公開及び広報について

現在、年4回発行の議会だより、インターネットや有線放送による生中継や議会懇談会等で情報公開を実施している。

今回の検証では町民への周知が不十分でその対策として議会だよりの速報版を全戸配布することとし、その予算措置を町長に要請することとした。

(3) 議員研修費

基本条例では議員の資質向上を図るには研修の充実強化に努めると規定している。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、委員会研修を見送り旅費を返上したが議員は研修の成果を町政に反映するのが使命である。

町議会独自の研修会の予算措置が必要となった場合、町長へ要請することとした。

(4) 議会事務局の機能強化
本会議以外の委員会等の議事録は職員が作

成しておりその負担が大きくなっている。

検証では職員の増員要請の意見もあったが、委員会等の議事録作成を外部発注することにより調査及び法務に関する機能の充実を職員に求め、それに関連する予算を町長へ要請することとした。

(5) 図書資料の充実

現状では参考となる図書が少なく、更新が必要で図書も多い。執行機関の監視機能及び政策立案機能を高めるため予算措置を町長へ要請することとした。

まとめ

議会活性化特別委員会では、議会及び議員の目標であり最高規範である議会基本条例を忠実に実践していくため積極的に政策提言を行うことが、町民の福祉の向上、町政発展につながるという共通理解のもと、必要な予算は積極的に町長へ要請し、来年度予算に反映さ

れるよう、中間報告として取りまとめた。

なお、議会及び各議員は町長へ要請した趣旨活動内容や成果を、町民に対し説明責任を果たすことにより、これまで以上

に聞かれた議会、町民から信頼される議会を目指すものである。

なお、12月1日に町長に対して議長から要請を行いました。



議会の要請

No. 38

New Voice

輝け青春!

町の学生も
紹介しています

宿地区 高校2年生 早坂奏之介さん

目標は日本一



私は今、仙台商業高等学校でバレーボールをしています。仙商バレーボール部は、春の高校バレーで宮城県予選も連覇していたこともあり、私はそんな一年生からセッターとして試合に出させてもらっています。

私がバレーボールを始めたきっかけは兄の影響です。三歳上の兄が小学生のときからバレーボールをやっており、楽しそうにバレーボールをしている兄を見て、僕もやってみたくて思ったのがきっかけです。

私の今の目標は、春の高校バレーで日本一を取る事です。中学校の頃も日本一を目指してバレーボールに取り組んでいましたが、ベスト16という結果に終わりました。

今年は新型コロナウイルスの影響により、インターハイ・国体が中止となったことで、春の高校バレーに懸ける思いがいつそ強くなっています。セッターとしてアタッカーを生かし、日本一に導けるように頑張ります。

私がバレーボールを全力で取り組める裏には両親をはじめ、地元の方々の支えがあります。お父さんは私がプレーで上手くいかず悩んでいる時、話を聞いてくれます。アドバイスをしてくれる。お母さんは私のパフォーマンスが上がるような食事を研究し、毎日愛情でこもりの料理を出してくれます。そして地域の方々には「がんばってね」「応援してるよ」などと声を掛けていただき、活動の原動力になっています。本当に感謝の気持ちでいっぱい。いつもありがとうございます。

めざせ世界!! 色麻の光となれ!

次回の会議は

3月5日金からの予定です。

議会の様子はパソコン・スマホで、生中継(録画)されております。

編集後記

未だ猛威を振るっている新型コロナウイルスス、ましてやパワアアップした変異種まで生まれている。

幸い町内では(2/1現在)まだ感染者が出ていませんが、いつ誰がどこで感染しても不思議ではない状況です。その時には誹謗中傷などせず感染拡大防止に努め、色麻町民のモラルの高さを示したいものです。頼みの綱のワクチン接種も始まるようですが、すべての人に行き渡るまでは、もう少し時間が必要なようです。それまでは、適度な運動でリンパ液を循環させ、免疫細胞で新型コロナウイルスを跳ね返せる身体にしておく必要があると思います。

我々議員も、いろんな施策を効果的に展開させ「コロナから町民の生活を守る」ことを目指しております。その中身の一片でも、この議会だより75号から読み取っていただき、町民の皆様と議員が一丸となり、この難局に立ち向かって行きたいと思っております。

文責 佐藤 忍

議会広報常任委員会

議長	中山 哲
委員長	佐藤 忍
委員	大内 直
委員	天野 秀
委員	佐藤 貞
委員	福田 弘
委員	河野 論